

MED-4750 Part A



安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠
改訂日: 2022/02/28

発行日: 2013/07/22

バージョン: 3.0

セクション 1: 化学物質特定情報および会社情報

製品特定情報

製品形態	混合物
製品名	MED-4750 Part A
別名	シリコンエラストマー
該当物質または混合物の関連特定用途および使用助言用途	
物質/混合物の用途	業務用のみ。

安全データシートの提供者に関する詳細

会社名

NuSil Technology LLC
1050 Cindy Lane
Carpinteria, California 93013
USA
(805) 684-8780
ehs@nusil.com
www.nusil.com

緊急時の連絡先電話番号

緊急時の連絡先電話番号 800-424-9300 CHEMTREC (米国内)、+1 703-527-3887 CHEMTREC (国際および海上)、+(81)-345209637 CHEMTREC (日本)

セクション 2: 危険有害性情報

物質または混合物の分類

GHS-JP 分類

未分類

ラベル要素

該当する表示なし

その他の危険有害性

追加情報なし

セクション 3: 組成、成分情報

日本の危険有害性周知基準である安全データシート (SDS) の要件 (JIS Z 7253 および JIS Z 7252) に準じて、この混合物の成分は開示する義務はない。

セクション 4: 応急措置

応急措置の説明

一般的な応急措置

意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける (可能な場合はラベルを提示する)。

吸入した場合の応急措置

症状が発生した場合: 屋外に退避し、暴露の疑いのある区域の換気を行う。呼吸困難が続く場合は、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合の応急措置

汚染された衣類を脱ぐ。汚染された領域を水で 5 分間以上洗い流す。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

MED-4750 Part A

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

眼に入った場合の応急措置	水で少なくとも 5 分間、注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合の応急措置	口をすすぐ。無理に吐かせない。医師による手当てを受けること。
応急処置をする者の保護措置と対策	適切な個人用保護具(PPE)を使用する。
最も重大な症状および影響(急性および遅延性)	
症状／影響	通常の使用において予測される条件下では、重大な危険有害事象の発生は見込まれない。
吸入した場合の症状／影響	長時間暴露により、炎症を引き起こすおそれがある。
皮膚への接触後の症状／影響	長時間暴露により、皮膚の炎症を引き起こすおそれがある。
眼に入った場合の症状／影響	眼にごく軽度の刺激を引き起こすおそれがある。
飲み込んだ場合の症状／影響	飲み込むと有害な影響を及ぼすおそれがある。
慢性症状	通常の使用条件下では予想されない。
即時の医療措置および特別な治療の対象となる症状	
暴露した場合や暴露が懸念される場合には、医師の診察、手当てを受けること。医師の診察が必要な場合、製品の容器やラベルを持参すること。	

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周囲の火災に適した消火剤を使用すること。

不適切な消火剤

強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。熱い生成物に放水すると、フロス(泡)が発生し、火力が強まる場合がある。

物質または混合物に由来する特別な危険有害性

火災危険性

可燃性ではないが、高温では燃焼するおそれがある。

爆発危険性

本製品には爆発性はない。

反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

消防士へのアドバイス

火災に関する予防措置

化学物質による火災の消火は慎重に行う。

消火時の指示

露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。

消火時の防護

呼吸用保護具を含む適切な保護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。

有害燃焼生成物

炭素酸化物(CO、CO₂)。ケイ素酸化物。爆発性水素ガス。ホルムアルデヒド。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置

一般的な措置

眼、皮膚、および衣類との長時間の接触は避けること。吸引を避けること(蒸気、ミスト、スプレー)。

二次災害の防止策

当該領域の換気を行う。

緊急救援隊以外の人員

保護具

適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

緊急措置

不必要な人員を退避させる。

緊急対応にあたる人員

保護具

浄化担当スタッフには適切な保護具を装着させる。

MED-4750 Part A

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

緊急措置

現場に到着したら、まず危険なものがないことを確認し、自分とその周囲の保護、安全を図り、状況が許し次第、訓練された人の支援を求める。当該領域の換気を行う。

環境に関する注意事項

下水および公共用水への流入を防止する。

封じ込めおよび浄化の方法・資材

封じ込め

漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や水路への流入を防止する。

浄化方法

漏出した物質を迅速に除去し、回収した物質は安全に廃棄する。漏出した物質を廃棄に適した容器に移す。漏出の発生後に、監督官庁に通報する。

他のセクションの参照事項

セクション 8「暴露防止および保護措置」およびセクション 13「廃棄上の注意」を参照のこと。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いに関する注意事項

加工時の追加的有害危険性

本物質が高温になると刺激性の煙が発生する。高温加工における本製品の使用に際しては、定められた安全動作条件が確立され、維持されていることを確認するために、徹底的な評価を行うことが求められる。

安全な取扱いに関する注意事項

蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないようにすること。皮膚、眼、衣類との接触は避ける。飲食や喫煙の前、および作業場を離れる際には、手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗浄する。

衛生対策

飲食や喫煙の前には手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗い、作業場を離れる際にも再度洗うこと。労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。

安全な保管の条件(混触危険性を含む)

技術的対策

適用される規則を遵守する。

保管条件

使用していない場合は、容器を閉めておく。乾燥した涼しい場所に保管すること。直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質を避けて保管する。

混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

梱包／容器に使用されている材料

追加情報なし

特定の最終用途

業務用のみ。

セクション 8: 暴露防止および保護措置

管理基準

追加情報なし

生物学的限界

追加情報なし

暴露防止

適切な工学的管理

暴露の危険性のある区域の近くに、目の洗浄および身体洗浄に適した設備を設置しなければならない。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。国／地方公共団体の規則を確実に遵守する。

MED-4750 Part A

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

個人用保護具

保護衣の素材
手の保護
眼および顔面の保護
皮膚および身体の保護
呼吸器系の保護

その他の情報

手袋。保護衣。防護ゴーグル。



耐化学物質性の素材および繊維。
保護手袋を着用すること。
化学薬品対応の安全ゴーグル。
適切な保護衣を着用すること。
暴露限界値を超えるか、かゆみなどが感じられる場合は、認証済み呼吸保護具を着用する。換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。
本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態	液体
外観	無色
臭い	無臭
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
蒸発速度	データなし
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	135°C (275.00°F) 超
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
燃焼性(固体、気体)	該当なし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度(20°C)	データなし
相対密度	1 超(水= 1)
溶解度	データなし
分配係数: N-オクタノール/水	データなし
粘度	データなし
爆発限界	データなし

その他の情報

揮発性有機化合物含量 1%未満

セクション 10: 安定性および反応性

反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

化学的安定性

推奨される取扱いおよび保管条件下にある場合は安定(セクション 7 を参照)。

有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

MED-4750 Part A

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

避けるべき条件

直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質。

混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

危険有害な分解生成物

熱分解により、以下を生成する可能性がある：炭素酸化物(CO、CO₂)。ケイ素酸化物。爆発性水素ガス。ホルムアルデヒド。温度が 150°C (300°F) を超えると分解し、ホルムアルデヒドの蒸気を発生する。ホルムアルデヒドは発がん性を持つ物質であり、皮膚および呼吸器官系に対して感作物質として作用する可能性がある。ホルムアルデヒドはまた、呼吸器および眼への刺激を引き起こす場合がある。

セクション 11: 有害性情報

毒性影響に関する情報

急性毒性(経口)	未分類。
急性毒性(経皮)	未分類。
急性毒性(吸入)	未分類。
皮膚腐食性/刺激性	未分類。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	未分類。
呼吸器官系または皮膚感作性	未分類。
生殖細胞変異原性	未分類。
発がん性	未分類。
生殖毒性	未分類。
特定標的臓器毒性(STOT) - 単回暴露	未分類。
特定標的臓器毒性(STOT) - 反復暴露	未分類。
吸引性呼吸器有害性	未分類。
その他の情報	追加情報なし

セクション 12: 環境影響情報

毒性

急性水生毒性	未分類。
慢性水生毒性	未分類。
生態系 - 一般	未分類。

残留性および分解性

MED-4750 Part A	
残留性および分解性	立証されていない。

生物蓄積性の可能性

MED-4750 Part A	
生物蓄積性の可能性	立証されていない。

土壌中の移動性

追加情報なし

その他の有害な影響

オゾン層に有害	未分類。
その他の情報	環境への放出を避けること。

MED-4750 Part A

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

その他の情報

空にした容器が有害である可能性あり。すべての使用上の注意に従うこと。

セクション 14: 輸送上の注意

この輸送上の説明は、SDS の起草時点で想定された内容に従って記述されており、基準となる変数が、SDS が発行された時点で既知であった、あるいは、未知であったため、変動することがある。

UNRTDG に準拠

輸送規制なし

IATA に準拠

輸送規制なし

IMDG/IMO に準拠

輸送規制なし

その他の情報

追加情報なし

セクション 15: 適用法令

適用法令

この混合物中のすべての成分は、日本の ENCS (既存および新規化学物質) の目録に記載されており、ISHL (労働安全衛生法) は適用から除外されているか、関連規則による CBI 要件または開示規則に従い開示されていない。

セクション 16: その他の情報

作成日または最新改訂日

2022/02/28

参考文献

本書は日本の危険有害性周知基準である安全データシート(SDS)の要件 JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準じて作成された。

日本 GHS SDS

本安全データシート(SDS)の情報は、本 SDS 記載の日付時点で正確であると考えられるデータに基づいて作成されたものである。法の許容する最大限の範囲で、NuSil Technology, LLC およびその関連会社("NuSil")は、本書記載の情報(正確さ、完全性、目的または使用の適宜性、商品性、不侵害、性能、安全性、適合性および安定性に関するものを含むがこれらに限定されない)に関するすべての表明および保証を明示的に排除する。本 SDS は、適切に訓練されたスタッフが製品を取扱う上での適切な使用方法、取扱い、保管および処分の方法に関してのガイドとなることを目的としているが、すべてを網羅したものではない。NuSil 製品のユーザーは、その目的と使用内容に応じて、各製品および製品の組み合わせの安全性、適合性、適切な使用、取扱い、保管および処分を行うにあたり、ユーザー自身でそれらのテストおよび判断することが推奨される。法の許容する最大限の範囲で NuSil は、いかなる条件においても、利益の損失、風評被害、製品の回収または事業の中断を含む特殊、間接、偶発的、懲罰的または派生的被害の種類を問わず、それらの責任を負わないものとし、NuSil の製品を購入したユーザーは、そのことに同意するものとする。

MED-4750 Part B



安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠
改訂日: 2022/02/28

発行日: 2013/07/22

バージョン: 3.0

セクション 1: 化学物質特定情報および会社情報

製品特定情報

製品形態	混合物
製品名	MED-4750 Part B
別名	シリコンエラストマー
該当物質または混合物の関連特定用途および使用助言用途	
物質/混合物の用途	業務用のみ。

安全データシートの提供者に関する詳細

会社名

NuSil Technology LLC
1050 Cindy Lane
Carpinteria, California 93013
USA
(805) 684-8780
ehs@nusil.com
www.nusil.com

緊急時の連絡先電話番号

緊急時の連絡先電話番号 800-424-9300 CHEMTREC (米国内)、+1 703-527-3887 CHEMTREC (国際および海上)、+(81)-345209637 CHEMTREC (日本)

セクション 2: 危険有害性情報

物質または混合物の分類

GHS-JP 分類

未分類

ラベル要素

該当する表示なし

その他の危険有害性

追加情報なし

セクション 3: 組成、成分情報

日本の危険有害性周知基準である安全データシート (SDS) の要件 (JIS Z 7253 および JIS Z 7252) に準じて、この混合物の成分は開示する義務はない。

セクション 4: 応急措置

応急措置の説明

一般的な応急措置

意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける (可能な場合はラベルを提示する)。

吸入した場合の応急措置

症状が発生した場合: 屋外に退避し、暴露の疑いのある区域の換気を行う。呼吸困難が続く場合は、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合の応急措置

汚染された衣類を脱ぐ。汚染された領域を水で 5 分間以上洗い流す。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

MED-4750 Part B

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

眼に入った場合の応急措置	水で少なくとも 5 分間、注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合の応急措置	口をすすぐ。無理に吐かせない。医師による手当てを受けること。
応急処置をする者の保護措置と対策	適切な個人用保護具(PPE)を使用する。
最も重大な症状および影響(急性および遅延性)	
症状／影響	通常の使用において予測される条件下では、重大な危険有害事象の発生は見込まれない。
吸入した場合の症状／影響	長時間暴露により、炎症を引き起こすおそれがある。
皮膚への接触後の症状／影響	長時間暴露により、皮膚の炎症を引き起こすおそれがある。
眼に入った場合の症状／影響	眼にごく軽度の刺激を引き起こすおそれがある。
飲み込んだ場合の症状／影響	飲み込むと有害な影響を及ぼすおそれがある。
慢性症状	通常の使用条件下では予想されない。
即時の医療措置および特別な治療の対象となる症状	
暴露した場合や暴露が懸念される場合には、医師の診察、手当てを受けること。医師の診察が必要な場合、製品の容器やラベルを持参すること。	

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周囲の火災に適した消火剤を使用すること。

不適切な消火剤

強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。熱い生成物に放水すると、フロス(泡)が発生し、火力が強まる場合がある。

物質または混合物に由来する特別な危険有害性

火災危険性

可燃性ではないが、高温では燃焼するおそれがある。

爆発危険性

本製品には爆発性はない。

反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

消防士へのアドバイス

火災に関する予防措置

化学物質による火災の消火は慎重に行う。

消火時の指示

露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。

消火時の防護

呼吸用保護具を含む適切な保護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。

有害燃焼生成物

炭素酸化物(CO、CO₂)。ケイ素酸化物。爆発性水素ガス。ホルムアルデヒド。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置

一般的な措置

眼、皮膚、および衣類との長時間の接触は避けること。吸引を避けること(蒸気、ミスト、スプレー)。

二次災害の防止策

当該領域の換気を行う。

緊急救援隊以外の人員

保護具

適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

緊急措置

不必要な人員を退避させる。

緊急対応にあたる人員

保護具

浄化担当スタッフには適切な保護具を装着させる。

MED-4750 Part B

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

緊急措置

現場に到着したら、まず危険なものがないことを確認し、自分とその周囲の保護、安全を図り、状況が許し次第、訓練された人の支援を求める。当該領域の換気を行う。

環境に関する注意事項

下水および公共用水への流入を防止する。

封じ込めおよび浄化の方法・資材

封じ込め

漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や水路への流入を防止する。

浄化方法

漏出した物質を迅速に除去し、回収した物質は安全に廃棄する。漏出した物質を廃棄に適した容器に移す。漏出の発生後に、監督官庁に通報する。

他のセクションの参照事項

セクション 8「暴露防止および保護措置」およびセクション 13「廃棄上の注意」を参照のこと。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いに関する注意事項

加工時の追加的有害危険性

本物質が高温になると刺激性の煙が発生する。高温加工における本製品の使用に際しては、定められた安全動作条件が確立され、維持されていることを確認するために、徹底的な評価を行うことが求められる。

安全な取扱いに関する注意事項

蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないようにすること。皮膚、眼、衣類との接触は避ける。飲食や喫煙の前、および作業場を離れる際には、手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗浄する。

衛生対策

飲食や喫煙の前には手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗い、作業場を離れる際にも再度洗うこと。労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。

安全な保管の条件(混触危険性を含む)

技術的対策

適用される規則を遵守する。

保管条件

使用していない場合は、容器を閉めておく。乾燥した涼しい場所に保管すること。直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質を避けて保管する。

混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

梱包／容器に使用されている材料

追加情報なし

特定の最終用途

業務用のみ。

セクション 8: 暴露防止および保護措置

管理基準

追加情報なし

生物学的限界

追加情報なし

暴露防止

適切な工学的管理

暴露の危険性のある区域の近くに、目の洗浄および身体洗浄に適した設備を設置しなければならない。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。国／地方公共団体の規則を確実に遵守する。

MED-4750 Part B

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

個人用保護具

保護衣の素材

手の保護

眼および顔面の保護

皮膚および身体の保護

呼吸器系の保護

その他の情報

手袋。保護衣。防護ゴーグル。



耐化学物質性の素材および繊維。

保護手袋を着用すること。

化学薬品対応の安全ゴーグル。

適切な保護衣を着用すること。汚染された衣類は、再使用する前に洗濯する。

換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。暴露限界値を超えるか、かゆみなどが感じられる場合は、認証済み呼吸保護具を着用する。

本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態

液体

外観

無色

臭い

無臭

臭いの閾値

データなし

pH

データなし

蒸発速度

データなし

融点

データなし

凝固点

データなし

沸点

データなし

引火点

135°C (275.00°F) 超

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

燃焼性(固体、気体)

該当なし

蒸気圧

データなし

相対蒸気密度(20°C)

データなし

相対密度

1 超(水= 1)

溶解度

データなし

分配係数: N-オクタノール/水

データなし

粘度

データなし

爆発限界

該当なし

その他の情報

揮発性有機化合物含量

1%未満

セクション 10: 安定性および反応性

反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

化学的安定性

推奨される取扱いおよび保管条件下にある場合は安定(セクション 7 を参照)。

有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

MED-4750 Part B

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

避けるべき条件

直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質。

混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

危険有害な分解生成物

熱分解により、以下を生成する可能性がある：炭素酸化物(CO、CO₂)。ケイ素酸化物。爆発性水素ガス。温度が 150°C (300°F) を超えると分解し、ホルムアルデヒドの蒸気を発生する。ホルムアルデヒドは発がん性を持つ物質であり、皮膚および呼吸器系に対して感作物質として作用する可能性がある。ホルムアルデヒドはまた、呼吸器および眼への刺激を引き起こす可能性がある。ホルムアルデヒド。

セクション 11: 有害性情報

毒性影響に関する情報

急性毒性(経口)	未分類。
急性毒性(経皮)	未分類。
急性毒性(吸入)	未分類。
皮膚腐食性/刺激性	未分類。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	未分類。
呼吸器系または皮膚感作性	未分類。
生殖細胞変異原性	未分類。
発がん性	未分類。
生殖毒性	未分類。
特定標的臓器毒性(STOT) - 単回暴露	未分類。
特定標的臓器毒性(STOT) - 反復暴露	未分類。
吸引性呼吸器有害性	未分類。
潜在的なヒトの健康に対する有害作用および症状	利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
その他の情報	追加情報なし

セクション 12: 環境影響情報

毒性

急性水生毒性	未分類。
慢性水生毒性	未分類。
生態系 - 一般	未分類。

残留性および分解性

MED-4750 Part B	
残留性および分解性	立証されていない。

生物蓄積性の可能性

MED-4750 Part B	
生物蓄積性の可能性	立証されていない。

土壤中の移動性

追加情報なし

その他の有害な影響

オゾン層に有害	未分類。
その他の情報	環境への放出を避けること。

MED-4750 Part B

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

その他の情報

空にした容器が有害である可能性あり。すべての使用上の注意に従うこと。

セクション 14: 輸送上の注意

この輸送上の説明は、SDS の起草時点で想定された内容に従って記述されており、基準となる変数が、SDS が発行された時点で既知であった、あるいは、未知であったため、変動することがある。

UNRTDG に準拠

輸送規制なし

IATA に準拠

輸送規制なし

IMDG/IMO に準拠

輸送規制なし

その他の情報

追加情報なし

セクション 15: 適用法令

適用法令

この混合物中のすべての成分は、日本の ENCS (既存および新規化学物質) の目録に記載されており、ISHL (労働安全衛生法) は適用から除外されているか、関連規則による CBI 要件または開示規則に従い開示されていない。

セクション 16: その他の情報

作成日または最新改訂日

2022/02/28

参考文献

本書は日本の危険有害性周知基準である安全データシート(SDS)の要件 JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準じて作成された。

日本 GHS SDS

本安全データシート(SDS)の情報は、本 SDS 記載の日付時点で正確であると考えられるデータに基づいて作成されたものである。法の許容する最大限の範囲で、NuSil Technology, LLC およびその関連会社("NuSil")は、本書記載の情報(正確さ、完全性、目的または使用の適宜性、商品性、不侵害、性能、安全性、適合性および安定性に関するものを含むがこれらに限定されない)に関するすべての表明および保証を明示的に排除する。本 SDS は、適切に訓練されたスタッフが製品を取扱う上での適切な使用方法、取扱い、保管および処分の方法に関してのガイドとなることを目的としているが、すべてを網羅したものではない。NuSil 製品のユーザーは、その目的と使用内容に応じて、各製品および製品の組み合わせの安全性、適合性、適切な使用、取扱い、保管および処分を行うにあたり、ユーザー自身でそれらのテストおよび判断することが推奨される。法の許容する最大限の範囲で NuSil は、いかなる条件においても、利益の損失、風評被害、製品の回収または事業の中断を含む特殊、間接、偶発的、懲罰的または派生的被害の種類を問わず、それらの責任を負わないものとし、NuSil の製品を購入したユーザーは、そのことに同意するものとする。